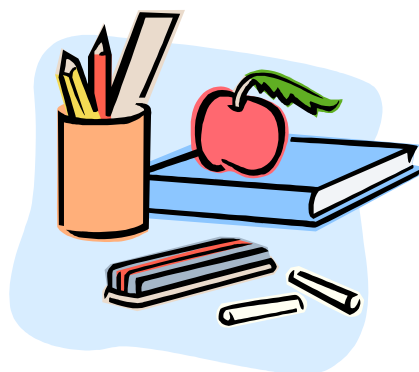


令和5年度

学習のしおり

学び

全学年版



河内長野市立長野中学校

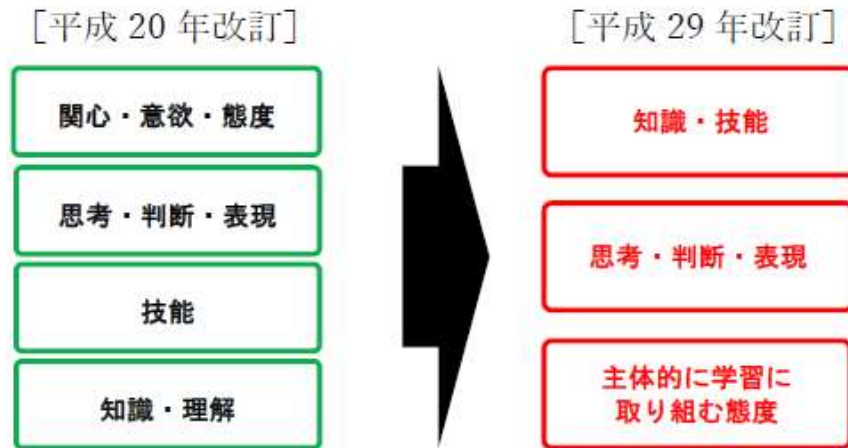
評価について

令和5年4月

1. ポイント

学習指導要領の記載に従い、次のような評価を行っています。

- ★「観点別学習状況の評価」をもとに「目標に準拠した評価」で評価しています。
- ★ 1・2学期の欄には、その学期の評価が記載されます。
- ★ 3学期の欄には、1年間を総合した評価が記載されます。



【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

(国立教育政策研究所 資料より)

2. 評価のための資料

a. テスト ○中間テスト、期末テスト、実力テスト、授業等で行う実技テスト

b. 日常の取組

○授業での取組—ノートなどへの書きこみ、発言、チームワークなど。

○家庭での取組—課題への取組の状況など。

- ・これらの資料を総合し評価が行われます。定期テストだけで成績は決まりません。
- ・忘れ物をする、未提出の課題がある、授業欠席が多いなどの場合、正当な評価がうけられなくなります。

※ 各教科の学習内容および評価の方法については、このしおりに記載していますので、ご確認ください。

3. 観点別学習状況の評価

※「観点別学習状況の評価」のA, B, Cには評価の幅があります。例えば1学期と2学期が同じ評価だからといって、価値が同一であるとは限りません。また学習内容により、各観点の重み付けが変化します。同じ評価の組み合わせでも評定が異なる場合があります。

学習の目標に照らして、その実現状況を観点別に評価したもの

A・・・十分達成できていると判断されるもの

B・・・おおむね達成できていると判断されるもの

C・・・努力を要すると判断されるもの

●この教科の見方・考え方

国語において、見方・考え方を働かせるとは、生徒が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり、問い直したりして、言葉への自覚を高めること。

●学習を進めるに当たって

使用教材	・教科書 ・国語ワーク ・漢字ワーク など	持ち物	教科書、ノート、漢字ワーク 国語ワーク など
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「書く」「話す聞く」「知識」「関心意欲」の5つの力をバランスよく身につけましょう。 ・言語活動の場面では積極的に参加し、話し合いでは周囲とのコミュニケーションを楽しみましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、継続して学習する習慣をつけましょう。 ・日常的に「漢字」「語彙」の習得や読書を積極的に行いましょう。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ファイルをしっかりと見直しましょう。 ・漢字などの語句をしっかりと覚え、授業で扱った文章の理解に努めましょう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・先生が話すとき、友達が話すときには相手を尊重し、しっかりと聞きましょう。 ・文章を読む、話し合いをするときには受け身にならず、主体的に取り組まましょう。 		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。</p> <p>評価の規準 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p> <p>評価の場面・方法 ○授業での取り組み ○提出物(ノート・ワーク等) ○古典の暗唱 ○書写の授業 ○漢字テスト ○定期テスト など</p>	<p>学習目標(評価の観点) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。</p> <p>評価の規準 「話す聞く」「書く」「読む」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>評価の場面・方法 ○授業での取り組み ○提出物(ノート・ワーク等) ○リスニング ○定期テスト など</p>	<p>学習目標(評価の観点) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。</p> <p>評価の規準 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。</p> <p>評価の場面・方法 ○授業での取り組み態度 ○提出物 など</p>

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	「朝のリレー」2 詩の基礎知識1 「野原はうたう」4		「見えないだけ」1 詩の基礎知識1 文法①3		「世界はうつくしいと」4 「握手」8 「学んで時に之を習ふ一『論語』から」2	中間テスト
5	「シンシュン」6 漢字の組み立て2 文法①6	中間テスト	「アイスプラネット」5 「類義語・対義語」2 「枕草子」6	中間テスト	情報の信頼性1 熟語の読み方1 「作られた「物語」を超えて」9	
6	「ダイコンは大きな根?」5 「ちょっと立ち止まって」4		「字のない葉書」5 熟語の構成1 「文法②」4		具体化・抽象化1 リオの伝説のスピーチ4 報道文を比較して読もう3	期末テスト
7	情報社会を生きる3 文法②5 「詩の世界」3	期末テスト	「クマゼミ増加の原因を探る」5 「短歌に親しむ」2 「短歌を味わう」3	期末テスト	「俳句の可能性」6 「俳句を味わう」6 和語・漢語・外来語1	
9	「比喩で広がる言葉の世界」4 「大人になれなかった弟たちに…」5	実力テスト	「モアイは語る」5 「読書を楽しむ」4 「文法③」5	実力テスト	「挨拶一原爆の写真によせて」1	二月実テ
10	「星の花が降るころに」5 聞き上手になろう2 『「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ』5	中間テスト	「盆土産」4 「平家物語」1 「扇の的」3	中間テスト	「故郷」10 慣用句・ことわざ・故事成語2 「人口知能との未来」5	
11	文法③5 「いろは歌」2 古典の世界2		「仁和寺にある法師」2 敬語2 「漢詩の風景」4		「人間と人口知能と創造性」5 「初恋」2 「和歌の世界」2	中間テスト
12	「竹取物語」7 「今に生きる言葉」4 文法④5	期末テスト	「行書」3 「文法③」5 「君は「最後の晚餐」を知っているか」5	期末テスト	「人間と人口知能と創造性」5 「初恋」2 「古今和歌集 仮名序」2 「君待つと一万葉・古今・新古今」6	
1			人物像をよみとろう2 お礼の手紙を書こう3 「走れメロス」8		「夏草一「おくのほそ道」から」10 古典名句・名言集1 「誰かの代わりに」5	二月実テ
2	『「不便」の価値を見つめ直す』4 「少年の日の思い出」8		方言と共通語3 文法の復習(随時) 表現活動(随時)		「温かいスープ」4 「わたしを束ねないで」2 文法の復習(随時) 中学校のまとめ(随時)	
3	文法の復習(随時) 表現活動(随時)	学年末テスト	ビブリオバトルをしよう(2学期以降)	学年末テスト	演習問題(随時)	期末テスト
						1月実テ
						学年末テスト

●この教科の見方・考え方

- ・(地理的分野) 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること
- ・(歴史的分野) 社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差違などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること
- ・(公民的分野) 社会的事象を、政治、法、経済などに関わる多様な視点(概念や理論など)に着目して捉え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資する概念や理論などと関連付けること

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書、授業プリント、資料集、ワークなど	持物	教科書、資料集、ノートなど
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を前向きな姿勢で集中し、発問に対して積極的に考えてみよう。 ・作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにしましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習を大切に、毎日継続して、学習する習慣をつけよう。 ・新聞やニュースなどを見る習慣をつけよう。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ワークなどをしっかり見直しましょう。 ・時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦しよう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・「知ろうとすること」「考え抜こうとすること」「学び合おうとすること」を大切に取り組みましょう。 ・積極的に家庭学習(予習、復習、授業で学習したことをまとめる、問題集を解く、調べ学習など)を行って、知識の定着をはかろう。 		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 日本や世界の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめている。</p> <p>評価の規準 特色を踏まえて理解しているとともに、様々な情報を効果的に調べまとめられている。</p> <p>評価の場面・方法 定期テストや小テスト、ノートやレポートの内容など</p>	<p>学習目標(評価の観点) 社会的事からの意味や意義、特色や相互の関連を様々な視点から考察したり、社会にある課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p> <p>評価の規準 様々な視点から考察したり、課題解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論できる。</p> <p>評価の場面・方法 定期テストや小テスト、ノートやレポートの内容、発表や話し合い活動など</p>	<p>学習目標(評価の観点) 社会的事からについて、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。</p> <p>評価の規準 よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題に対して主体的に追究、解決しようとしている。また、主体的に社会に関わろうとしている。</p> <p>評価の場面・方法 授業中の態度や発言、行動観察、ノートやレポートの記述、自己評価や相互評価など</p>

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	世界と日本の地域構成7 地球、国名と位置、経度と緯度、地球儀と世界地図	中間テスト	今年度は地理と歴史を同時に進めていきます。	中間テスト	近代国家の歩みと国際社会 11 帝国主義と日本、 アジアの強国の光と影	中間テスト
5	日本の姿7 世界の中での日本の位置、時差、日本の領域、都道府県と県庁所在地		身近な地域の調査日本の地域的特色 日本の気候、様々な自然災害、人口の特色、資源や産業の特色、地域間の結びつきの特色(15)		二度の世界大戦と日本 19 第1次世界大戦と民族独立の動き、高まるデモクラシーの意識、帝国主義と日本の行方、アジアと太平洋に広がる戦線	
6	世界のさまざまな地域 12 生活と環境、暑い地域、乾燥した地域、温暖な地域、寒い地域、高地の暮らし、世界各地の衣食住、生活と宗教	期末テスト	武家政権の展開と世界の動き 大航海によって結びつく世界、戦乱から全国統一へ、武士による支配の完成、天下泰平の世の中、社会の変化と幕府の対策(18)	期末テスト	現在に続く日本と世界 10 敗戦から立ち直る日本、世界の多極化と日本の成長、これからの日本と世界	期末テスト
7	歴史のとらえ方と調べ方 古代国家の成立と東アジア 15 人類の登場から文明の発生、東アジアの中の倭(日本)、中国にならった国家づくり、展開する天皇・貴族の政治	実力テスト	日本の諸地域 1節 九州地方(6) 自然環境、人々の生活、農業、工業と自然環境、南西諸島の自然環境と生活・産業	実力テスト	1編 私たちと現代社会 12 私たちが生きる現代社会の特色、現代社会の文化と私たち、現代社会の見方・考え方(対立と合意、公立と公正)	
9	武家政権の成長と東アジア 15 武士の世の始まり、武家政権の内と外、人々の結びつきが強まる社会	中間テスト	2節 中国四国地方(6) 自然環境、交通網の整備と生活、瀬戸内の工業、農業、観光客への取組み	中間テスト	2編 私たちの生活と政治 ①個人の尊重と日本国憲法 18 法に基づく日本国憲法、日本国憲法と基本的人権、日本の平和主義	10月実テ 中間テ 11月実テ
10	世界の諸地域 1節 アジア州 9 自然環境、農業、文化、経済発展、中国、韓国、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア	期末テスト	3節 近畿地方(6) 自然環境、京阪神大都市圏、環境と工業、歴史的景観の保全、林業・漁業と保全活動	期末テスト	②民主権と日本の政治 18 民主政治と政治参加、国の政治のしくみ(国会・内閣・裁判所)、地方自治	
11	2節 ヨーロッパ州 8 自然環境、文化、EUの成り立ち、農業、工業、EUの課題	学年末テスト	近代国家の歩みと国際社会 欧米の諸国における「近代化」、開国と幕府の終わり、新しい価値観の下で、近代国家への歩み、帝国主義と日本、アジアの強国の光と影(22)	学年末テスト	3編 私たちの生活と経済 24 経済のしくみと消費生活、生産の場としての企業、金融のしくみとお金、財政と国民の福祉	1月実テ 学年末テスト
12	3節 アフリカ州 6 自然環境、歴史と文化、経済、課題、		4節 中部地方(6) 自然環境、輸送機械工業の東海、農業、中央高地の産業、北陸の産業		4編 私たちと国際社会 15 国家と国際社会、国際社会の課題と私たちの取り組み	
1	4節 北アメリカ州 7 自然環境、移民の歴史・民族、農業、工業、生産と消費	学年末テスト	5節 関東地方(6) 自然環境、首都・東京、京大都市圏、人口集中と産業、臨海から内陸へ、農業と過疎問題	学年末テスト	5編 私たちの課題 3 持続可能な社会を目指して	※各テストに20点ほどの総復習問題を出题予定
2	5節 南アメリカ州 6 自然環境、民族と文化、農業と工業、ブラジルの開発と環境保全		6節 東北地方(6) 自然環境、稲作と畑作、果樹栽培と漁業、伝統文化、工業と生活の変化		5編 私たちの課題 3 持続可能な社会を目指して	
3	6節 オセアニア州 5 自然環境、移民の歴史と多文化共生、産業	学年末テスト	7節 北海道地方(6) 自然環境、稲作の歴史、畑作・酪農・漁業、歴史と観光業	学年末テスト		
			第一次世界大戦と民族独立の動き 第一次世界大戦の始まりと総力戦、拡大と日本、日米諸国、民族自決と国際協調(8)			

令和5年度 数 学 科

●この教科の見方・考え方

事象を数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的、発展的に考えること。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書、ワーク、計算プリント、授業配布プリント など	持ち物	教科書、ノート、ワーク、ファイル など
学習の進め方	<p><確かな学力を身につけよう></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。 ・積極的に発表や質問をする。 ・分からない部分はその日のうちに解決する。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習を大切にし、授業の内容を確認しておく。 ・学習した内容を宿題プリントやワークなどでくりかえし練習する。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、プリントやワークをしっかり見直す。 ・授業の内容をしっかりと確認し、反復練習をする。 ・解き方や公式を理解し、使えるようにする。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しよう。 ・授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ・前向きに家庭学習を行って、何回も問題を解こう。 		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点)</p> <p>数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。</p> <p>評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理、法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけている。 <p>評価の場面・方法</p> <p>定期・実力テスト、小テスト、プリント、レポートなど</p>	<p>学習目標(評価の観点)</p> <p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。</p> <p>評価の規準</p> <p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし、統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて、事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身につけている。</p> <p>評価の場面・方法</p> <p>定期・実力テスト、小テスト、プリント、レポートなど</p>	<p>学習目標(評価の観点)</p> <p>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。</p> <p>評価の規準</p> <p>数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価、改善しようとしていたりしている。</p> <p>評価の場面・方法</p> <p>授業での取り組み、提出物、プリント、レポートなど</p>

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	0章算数から数学へ(3) 1節整数の性質 1章正負の数(25)		1章式の計算(20) 1節式の計算 2節文字式の利用		1章多項式(19) 1節多項式の計算 2節因数分解 3節式の計算の利用	
5	1節正負の数 2節加法と減法 3節乗法と除法 4節正負の数の利用	中間テスト	2章連立方程式(16) 1節連立方程式とその解き方 2節連立方程式の利用	中間テスト	2章平方根(16) 1節平方根 2節根号を含む式の計算 3節平方根の利用	中間テスト
6	2章文字と式(18) 1節文字を使った式 2節文字式の計算 3節文字式の利用		3章1次関数(23) 1節1次関数 2節1次関数の性質と調べ方	期末テスト	3章2次方程式(15) 1節2次方程式とその解き方 2節2次方程式の利用	期末テスト
7	3章方程式(14) 1節方程式とその解き方 2節1次方程式の利用	期末テスト	3節2元1次方程式と1次関数の利用 4節1次関数の利用	実力テスト	4章関数 $y=ax^2$ (17) 1節関数 $y=ax^2$ 2節関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 3節いろいろな関数の利用	10月実テ
9	4章比例と反比例(22) 1節関数と比例・反比例 2節比例の性質と調べ方 3節反比例の性質と調べ方 4節比例と反比例の利用	実力テスト	4章平行と合同(18) 1節説明のしくみ 2節平行線と角 3節合同な図形	中間テスト	5章相似な図形(23) 1節相似な図形 2節平行線と比 3節相似な図形の面積と体積	中間テスト
10	5章平面図形(17) 1節図形の移動 2節基本の作図 3節おうぎ形	中間テスト	5章三角形と四角形(25) 1節三角形 2節平行四辺形	期末テスト	6章円(10) 1節円周角の定理 2節円周角の定理の利用	11月実テ
11	6章空間図形(18) 1節いろいろな立体 2節立体の見方と調べ方 3節立体の体積と表面積	期末テスト	6章確率(12) 1節確率 2節確率による説明		7章三平方の定理(13) 1節三平方の定理 2節三平方の定理の利用	期末テスト
12	7章データの分析と活用(10) 1節データの整理と分析 2節データの活用 3節ことからの起こりやすさ	学年末テスト	7章データの比較(8) 1節四分位範囲と箱ひげ図		8章標本調査(6) 1節標本調査 入試対策(10) 3年間の復習	1月実テ
1						学年末テスト
2						
3						

令和5年度 理科

●この教科の見方・考え方

見方○「エネルギー」を柱とする領域 水として量的・関係的な視点で捉えること
○「粒子」を柱とする領域 主として質的・実体的な視点で捉えること
○「生命」を柱とする領域 主として多様性と共通性の視点で捉えること
○「地球」を柱とする領域 主として時間的・空間的な視点で捉えること
考え方○比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「未来へひろがるサイエンス」啓林館 ワーク「理科の自主学习」新学社	持ち物	教科書、ノート、ワーク
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、授業に真剣に取り組もう。 ○ ノートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ 授業中のプリント類は、ノートに整理して貼り付けよう。 ○ 宿題はもちろん、自分で課題を見つけ、家庭学習をしっかりとやろう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、先生や誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 復習はその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書などをもう一度見直す。 (わからないところはそのままにしないでどんどん質問しよう) ○ 教科書やワークなどの問題を解いて答え合わせをする。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。 ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 教科書・ワーク・授業中のプリントなどをよく見直し、十分に理解できるように努力しよう。 ○ 問題練習をできるようになるまで、繰り返しやろう。 ○ わからないところは、再度、自分で調べたり、先生や誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書、ノート、配布したプリントなどは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ○ 実験により危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険を伴うものもあります。先生の指示がある前から器具に触れたり、勝手なことをしないこと。実験中もふざけないこと。 		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>評価の規準 自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>評価の場面・方法 定期・実力テスト、小テスト 実技テスト、実験観察レポート</p>	<p>学習目標(評価の観点) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。</p> <p>評価の規準 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</p> <p>評価の場面・方法 定期・実力テスト 小テスト、実験観察レポート</p>	<p>学習目標(評価の観点) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p> <p>評価の規準 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p> <p>評価の場面・方法 実験観察レポート ノートやワークへの取り組み</p>

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	[生命]いろいろな生物とその共通点		[物質] 化学変化と原子・分子		[生命] 生命の連続性	
5	1章 植物の特徴と分類 10 2章 動物の特徴と分類 10	中間テスト	1章 物質の成り立ち 12 2章 物質の表し方 5 3章 さまざまな化学変化 12	中間テスト	1章 生物のふえ方と成長 10 2章 遺伝の規則性と遺伝子 8 3章 生物の種類の多様性と進化 7	中間テスト
6	[物質]身のまわりの物質		4章 化学変化と物質の質量 6		[物質] 化学変化とイオン	
7	1章 いろいろな物質とその性質 8 2章 いろいろな気体とその性質 6 3章 水溶液の性質 8 4章 物質のすがたとその変化 8	期末テスト	[生命] 生物の体のつくりとはたらき	期末テスト	1章 水溶液とイオン 9 2章 電池とイオン 9 3章 酸・アルカリと塩 12	期末テスト
9		実力テスト	1章 生物の体をつくるもの 5 2章 植物の体のつくりとはたらき 10	実力テスト	[エネルギー] 運動とエネルギー	
10		中間テスト	3章 動物の体のつくりとはたらき 15 4章 動物の行動のしくみ 10	中間テスト	1章 力の合成と分解 7 2章 物体の運動 11 3章 仕事とエネルギー 8 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 4	10月実テ
11	[光・音・力による現象] 1章 光による現象 10 2章 音による現象 8 3章 力による現象 12	期末テスト	[地球] 地球の大気と天気の変化	期末テスト	5章 エネルギー資源とその利用 5	中間テ
12			1章 地球をとり巻く大気のように 6 2章 大気中の水の変化 7 3章 天気の変化と大気の動き 6		[地球] 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 5	11月実テ
1	[地球]活きている地球 1章 身近な大地 5 2章 ゆれる大地 5 3章 火をふく大地 8		4章 大気の動きと日本の四季 11		2章 太陽と恒星の動き 9 3章 月と金星の動きと見え方 6	期末テ
2	4章 語る大地 7		[エネルギー] 電流とその利用		[環境] 自然と人間 1章 自然界のつり合い 6 2章 さまざまな物質の利用と人間 6	1月実テ
3		学年末テスト	1章 電流の性質 18 2章 電流の正体 8 3章 電流と磁界 9	学年末テスト	3章 科学技術の発展 4 4章 人間と環境 9 5章 持続可能な社会をめざして 5	学年末テスト

●この教科の見方・考え方

英語で表現し合うため、英語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 ワーク	授業配布プリント リスニング教材 など	持ち物	教科書、ノート、ワーク、 ファイル など
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読む」「書く」「聞く」「話す」の4つの力をバランスよく身につけましょう。 ・実際に英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしましょう。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、継続して、学習する習慣をつけましょう。 ・日常的に「単語練習」「本文の音読」を行い、最終的には「書ける」ようになりましょう。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書やノート、ファイルをしっかり見直しましょう。 ・発音やアクセントを意識し、声に出しながら単語を書いて覚えましょう。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・先生の発音をしっかり聞き、英語の発音を意識しましょう。 ・まちがいを恐れず、活動には積極的に参加し、「話す・聞く」の姿勢を身につけましょう。 			

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを理解できる。 ○英文を読み、内容を理解できる。 ○英文や質問文の内容を理解できる。 <p>評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の言語材料や文法項目の意味や働きを正確に理解しているかどうか。 ○英文の内容が正確に理解できているかどうか。 ○英文や質問文の内容を聞き、正確に理解できているか。 <p>評価の場面・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト・実力テスト ○単語テスト・小テスト ○パフォーマンステスト ○発表活動 	<p>学習目標(評価の観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の言語材料や文法項目を使って、自分の思いや考えを表現できる。 ○自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができる。 <p>評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の言語材料や文法項目を適切に利用し、自分の思いや考えを表現できているかどうか。 ○自分の思いや気持ちを整理し、気持ちを込めて発表や音読ができているかどうか。 <p>評価の場面・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期テスト・実力テスト ○パフォーマンステスト ○発表活動 	<p>学習目標(評価の観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の習得にむけて、主体的に取り組むことができる。 ○発表活動や音読をペア・グループワークで積極的に参加することができる。 <p>評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習内容の習得にむけて、概要や要点を主体的に捉えようとしているかどうか。 ○発表活動や音読をペア・グループワークで積極的に参加しようとしているかどうか。 <p>評価の場面・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業態度 ○パフォーマンステスト ○提出物への取り組み ○発表活動への取り組み

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	小学校の振り返り・アルファベット・ローマ字(6)		未来形の文 be going to ~(4) will ~(4)		授業開き・自己紹介(1) 動詞 人 to 不定詞(3) 仮主語(4) 主語 be 動詞 形容詞 that(3)	
5	be 動詞(8)	中間テスト	接続詞 when / if (4)	中間テスト	間接疑問文(5) That 節(5) 道案内をしよう(3)	中間テスト
6	数字・複数形(2) 一般動詞(8)		接続詞・助動詞 (8) that / must / have to 不定詞(9) 動名詞(5)		Our Project 4(6) 読み物教材 1(6)	
7	Can の文(8) 命令文(2) 自己紹介スピーチ(8) ハンバーガーショップへ行こう (4)	期末テスト	Our Project 4(6) 読み物教材 1(6)	期末テスト	「記者会見をしよう」(10) 会話表現(3) 読み物教材(7)	期末テスト
9	This/That is ~ の文(8) 疑問詞 (8)	実力テスト	比較の文 比較級(5)最上級(5) 原級(5)	実力テスト	現在分詞(5) 過去分詞(5) HP で学校紹介しよう(3) 簡単な英語でいいかえよう(2)	中間テスト
10	一般動詞(3 人称単数)(10)	中間テスト	how to ~(4) look 形容詞(4) 第4文型[SV00] (4) レストランで注文しよう(4)	中間テスト	関係代名詞[主語](10) わかりやすい英文で考えよう(3) 関係代名詞[目的格](10) ディスカッションしよう(2) 仮定法過去(10) Our Project 8 「あなたの町を世界にPRしよう」(10) 読み物教材(4) 非常時のアナウンスを聞こう(1)	十月実テ
11	代名詞(8) 道案内をしよう(2) 店内放送(1)	期末テスト	受動態(8) Our Project 5(8) 読み物教材 2(6) 前置詞(3)	期末テスト	「あなたの町を世界にPRしよう」(10) 読み物教材(4) 非常時のアナウンスを聞こう(1)	十一月実テ
12	There is(are)~の文(8) 疑問詞まとめ (4)	期末テスト	Our Project 5(8) 読み物教材 2(6) 前置詞(3)	期末テスト	「あなたの町を世界にPRしよう」(10) 読み物教材(4) 非常時のアナウンスを聞こう(1)	期末テスト
1	他者紹介スピーチ(8) 現在進行形(8)		現在完了形 完了・経験(8) 継続(5)		Special Project 「中学校の思い出を話そう」(10)	一月実テ
2	一般動詞(過去)(8) Be 動詞の過去形(8) ピクチャーディスクリプション(2)		現在完了進行形(2) 説得力のある主張(2) メールで近況報告(2)		読み物教材(4) 読み物教材(7)	学年末テスト
3	「私の選んだ一枚」スピーチ(8) 手紙の書き方(3)	学年末テスト	Our Project 6(8) 読み物教材(6)	学年末テスト		

●この教科の見方・考え方

○音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形作っている要素とその働きの視点でとらえ、自己のイメージや感情、社会や生活、伝統や文化などに関連付けること。

●学習を進めるに当たって

使用教材	中学生の音楽 1・2・3上下 中学生の器楽	持ち物	教科書・筆記用具・ファイル すべて音楽ファイルに入れる
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心をもって授業に臨む。 ○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない) ○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。 ○授業の中で学習した曲について、根拠をもって感想や意見を言える。 <p><家庭学習について></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技の練習(イメージトレーニング)を行う。 ○長期休暇(夏休み等)の課題をする。 <p><定期テストについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○実技テストは基本として授業時間内に行う。 ○毎回の授業での活動や練習を大切にす。 ○定期テストは每学期行う。授業内容をしっかりと理解すること。 ○定期テストの中で、音楽の基礎知識を問う。 		
学習上の留意点	音楽の様々な要素を知覚し、特質や雰囲気をもどどのように感受したのかをそれぞれ確認しながら結び付けていくこと、また、音楽に関する用語や記号などを用いてイメージや意図などを伝え合い、音を媒体とするコミュニケーションである音楽活動に取り組みましょう。		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 曲想と音楽の構造や背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p> <p>評価の規準 ・曲想と音楽の構造や背景などのかかわり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱・器楽・創作で表している。</p> <p>評価の場面・方法 実技テスト、期末テスト 提出物・ワークシート内容</p>	<p>学習目標(評価の観点) 音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>評価の規準 ・音楽を形作っている要素や要素同士の間連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、知覚したことと感受した事とのかかわりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p> <p>評価の場面・方法 定期テスト、実技テスト 提出物・ワークシート内容</p>	<p>学習目標(評価の観点) 音楽活動の楽しさを体験することによって、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。</p> <p>評価の規準 ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>評価の場面・方法 定期テスト、実技テスト 課題内容・発言内容</p>

●学習内容及び試験について(教材の順序、内容等は変わることがあります。) 令和5年度

	第1学年		第2学年		第3学年		
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験	
4	●歌声について学ぼう(13) 「校歌」、変声について、歌う姿勢、練習の方法、歌声の作り方、指揮	実技テスト	●器楽 箏	実技テスト	●日本の歌の良さに触れよう(3)	実技テスト	
5	●観賞 曲想の変化を感じ取って聴こう。(3) 「春」		●器楽 ギター		●日本の伝統文化(能、文楽)について学ぼう(3)		
6	●リズム学習(5)		●声部の役割(3)		●器楽 箏(5)		
6	●楽典(5) 音符や記号を覚えよう	期末テスト	●観賞(3) フーガのおもしろさを味わおう。 「フーガ短調」	期末テスト	●合唱	期末テスト	
7	●「課題学習」		●心のうた (3)		●楽典		
9	合唱(8) ・合唱を通して、音や声の特徴を味わおう。 ・速度や強弱の変化を感じとろう。		●リズム学習		●楽典		
9	●観賞 詩の内容と曲想の変化との関わりを感じ取ろう。	期末テスト	●楽典	実技テスト	●合唱(10) ・合唱を通して、音や声の特徴を味わおう。 ・速度や強弱の変化を感じ取ろう	期末テスト	
10	●「魔王」(3)		●合唱(10) ・合唱を通して、音や声の特徴を味わおう。 ・速度や強弱の変化を感じ取ろう		●海外の音楽の良さに触れよう		●歌詞の意味を考えて表現を工夫しよう(5)
11	●観賞 日本の伝統音楽に親しもう。(8) ・箏曲(器楽) ・箏のしくみ ・伝統音楽の歴史 ・鑑賞 越天楽 六段の調		●海外の音楽の良さに触れよう		●観賞(3) 「交響曲第5番ハ短調」		●器楽 ギター(10)
12	●海外の音楽の特徴、多様性(1)	期末テスト	●日本の歌	期末テスト	●ポピュラー音楽とその表現、背景となる文化と歴史について学ぼう(5)	期末テスト	
1	●曲や演奏に対する評価(1)		●日本の伝統音楽に親しもう。		●観賞 (3) 歌舞伎「勧進帳」		●海外の音楽の良さに触れよう(1)
2	●クラシック音楽に興味を持とう(4)		●日本の歌		●卒業式に向けて		●鑑賞(3)
3	●卒業式に向けて(3)	学年末テスト		学年末テスト	●感動する卒業式を演出しよう。(8)	学年末テスト	

●この教科の見方・考え方

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすこと。

●学習を進めるに当たって

使用教材	美術1「美術との出会い」 美術2・3上「学びの実感と広がり」 美術2・3下「学びの探求と未来」 美術資料集	持ち物	ノート(初回配布) デザインセット 筆記用具 のり はさみ 他
学習の進め方	<授業での取り組みについて> ・様々なものを鑑賞し、創造力や発想力を働かせましょう。 ・自分の表したいものを見つけ表現することを楽しみましょう。 ・友達の発想や意見を知ることを通して、自分の世界を広げましょう。 <家庭学習について> ・日常的に美術作品だけではなく、様々なものを見て自分なりの意見を持ちましょう。 <定期テストについて> ・授業の内容をプリントにメモし、まとめておきましょう。 ・語句を覚えるだけではなく、内容をよく理解するように努めましょう。		
学習上の留意点	・忘れ物がないようにしましょう。 ・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておきましょう。 ・先生の指示は静かに聞きましょう。(ケガなど防止のため) ・表現することを恐れず、友達の表現を尊重しましょう。		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 対照や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>評価の規準 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を工夫し、創造的に表している。</p> <p>評価の場面・方法 活動中の様子・メモ 作品制作 定期テスト</p>	<p>学習目標(評価の観点) 造形的な良さや美しさ、表現の意図や工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>評価の規準 ・鑑賞活動や作品制作を通して自身の発想を広げることができる。 ・対象について自分の考えや意見を持つことができる。</p> <p>評価の場面・方法 活動中の様子・メモ 作品制作・鑑賞活動 定期テスト</p>	<p>学習目標(評価の観点) 美術の創作活動に喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、完成を豊かにし、心豊かな生活創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。</p> <p>評価の規準 ・創作活動に主体的にとり組み、新たな価値を生み出そうとしている。 ・学習に取り組む態度として、忘れ物、私語、立ち歩きなどをその日の授業点として評価する。</p> <p>評価の場面・方法 活動の様子・メモ</p>

●学習内容及び試験について(教材の順序、内容等は変わることがあります。) 令和5年度

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	オリエンテーション 色彩学習7	期末テスト	オリエンテーション	期末テスト	オリエンテーション	期末テスト
5	色と形のイメージ表現6		デッサン2		日本美術史2	
6	学級旗1		西洋美術史2		ピンアート7	
7	夏休みの課題		イメージを伝えよう4		夏休みの課題	
9	デザイン学習 4		夏休みの課題		夏休みの課題	
10	レタリング 文字の表現4		立体表現 粘土を使って 8		立体表現 仮面制作7	
11	レイアウト1 モダンテクニック1		期末テスト		西洋美術史 バロック・ルネサンス2	
12	デザイナーになろう しおりの制作8	学年末テスト	冬休みの宿題	学年末テスト	冬休みの宿題	
1	冬休みの宿題		伝統的な表現 和の文様2 オリジナル文様制作4		シュールレアリスム2	
2	みんなが知っている画家4		西洋美術 印象派2		卒業制作4	
3	校内ポスター7				最後の授業 1	学年末テスト
	総まとめ 1		総まとめ 1			

令和5年度 技術・家庭科（技術分野）

●この教科の見方・考え方

技術分野・・・生活や社会における事象を、技術との関わり視点で捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して技術を最適化すること

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書	持ち物	ノート	実習プリント
学習の進め方	<p><授業での取り組みについて></p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明はしっかりきこう。 ○何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。 ○わからないところ、できていないところを明確にし、学習・実習に取り組もう。 ○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。 ○実習中は、・安全第一に取り組もう。 ・説明中は静かにしよう。・清潔にしよう。・マナーを守ろう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校で習ったことを家で活用し、実践してみよう。 <p>《定期テスト》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。 			
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○忘れ物をしない。 ○提出物は期限を守り、きちんと仕上げて提出しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一取り組もう。 ○生活の中で活用できるように工夫しよう。 			

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点)</p> <p>生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>評価の規準</p> <p>生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>評価の場面・方法</p> <p>テスト 授業プリント 実技</p>	<p>学習目標(評価の観点)</p> <p>生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し・表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>評価の規準</p> <p>生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>評価の場面・方法</p> <p>テスト 授業プリント 実技</p>	<p>学習目標(評価の観点)</p> <p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p> <p>評価の規準</p> <p>よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>評価の場面・方法</p> <p>授業プリント 実技</p>

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	ガイダンス ・技術の役割・見方考え方 ・技術と生活・産業 (4)		生物育成に関する技術 ・ガイダンス ・作物の種類と生育過程 ・栽培に適した環境条件		情報に関する技術 ・情報とわたしたちに生活 ・情報ネットワークの利用	
5	・技術とエネルギーと環境 ・受け継がれ発展する技術	中間テスト	・作物の栽培 ・栽培技術と環境 ・動物の飼育 ・水産生物の栽培 (8)	中間テスト	・情報ネットワークと 情報セキュリティ ・情報モラルと知的財産	中間テスト
6	材料と加工に関する技術 ・生活や社会と材料と加工技術 ・材料利用について				・コンピュータと情報処理 (5)	
7	・材料のための技能 ・製品の設計 ・金属の種類について (8) ・金属の特徴について	期末テスト	エネルギー変換に関する技術 ・ガイダンス ・エネルギーと生活 (4)	期末テスト	・デジタル作品の設計 (2)	期末テスト
9	・金属の加工法について	実力テスト		実力テスト	・プログラムによる制御・計測	
10	情報に関する技術 ・コンピュータに関する基礎的な知識 ・基礎的な計測・制御 (4)	中間テスト	・エネルギー変換と利用 ・電気機器のしくみ ・電気回路の構成 (8)	中間テスト	・情報に関する技術の評価・活用	10月実テ
11	材料と加工に関する技術 ・製作品の製作 実習:本立て、小物入れ、等 ・部品の加工 (12)		・製作品の設計 ・製作品の製作		・制御プログラムの実習 (4)	
12	・組立て ・仕上げ	期末テスト	・実習:ダイナモライト (8)	期末テスト	・条件分岐 (2) ・繰り返し処理	11月実テ
1	・製作のまとめ ・評価・活用 (2)		・エネルギーと環境 ・動力の利用 ・エネルギー変換の実際 (5)		・プログラミング処理実習 (3)	
2					・HTML のついて	1月実テ
3	生活と加工に関する技術の適切な評価・活用 (3)	学年末テスト		学年末テスト	ホームページ作成について (3)	学年末テスト

令和5年度 技術・家庭科(家庭分野)

●この教科の見方・考え方

○家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 「技術・家庭 家庭分野」 開隆堂	持ち物	教科書 ノート ワーク
学習の進め方	<p>《確かな学力を身につけよう》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○説明はしっかり聞きましょう。 ○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。 ○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。 ○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。 ○実習・製作において <ul style="list-style-type: none"> ・安全第一に取り組みましょう。 ・説明中は静かにしましょう。 ・清潔にしましょう。 ・マナーを守りましょう。 <p>《家庭学習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食事の準備や食事作りをしてみましょう。 ○お弁当を作ってみましょう。 ○部屋の片付けや掃除は自分から率先してやりましょう。 ○学校で習ったことを家で実践していきましょう。 ○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。 		
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○忘れ物をしない。 ○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。 ○実習・製作においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。 ○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。 ○便利なものを利用し、生活をよりよく工夫していきましょう。 		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 生活と技術について理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p> <p>評価の規準 家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているととともに、それらに係る技能を身につけている。</p> <p>評価の場面・方法 テスト 提出物 実技</p>	<p>学習目標(評価の観点) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>評価の規準 これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>評価の場面・方法 テスト 提出物 実技</p>	<p>学習目標(評価の観点) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>評価の規準 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <p>評価の場面・方法 提出物 実技</p>

●学習内容及び試験について(教材の順序、内容等は変わることがあります。) 令和5年度

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	ガイダンス(2)		衣食住の生活 日常食の調理(3)		衣食住の生活 日常食の調理(3)	
5	衣食住の生活 食事の役割と食習慣(2)		目的に応じた衣服の選択 (6)		消費生活・環境 消費者被害と消費者の自 立(3)	
6	中学生に必要な栄養を満 たす食事(6)		日常着の手入れと保管 (5)		持続可能な社会(3)	
7	献立づくり(3) 夏休みの課題	期末 テスト		期末 テスト	家族・家庭生活 自分の成長と家族・家庭 生活(5)	期末 テスト
9	さまざまな食品とその選 択(5)		夏休みの課題		夏休みの課題	
10	日常食の調理(6)		生活を豊かにするもの の製作(11)		幼児の生活と家族(6)	
11					幼児とのかかわり(6)	
12	地域の食文化(1) 持続可能な食生活(1) 冬休みの課題	期末 テスト	持続可能な衣生活(1)	期末 テスト	家庭生活と地域のかかわ り(3)	期末 テスト
1	住まいのはたらきとここち よさ(4)		冬休みの課題		持続可能な家庭生活(3)	
2	安全な住まいで安心な暮 らし(4)		消費生活・環境 家庭生活と消費(3) 購入・支払いと生活情報 (3)		3年間を振り返って(3)	学 年 末 テ ス ト
3	持続可能な住生活(1)	学 年 末 テ ス ト	消費者被害と消費者の自 立(3)	学 年 末 テ ス ト		

令和5年度 保健体育科

●この教科の見方・考え方

運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『行う・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 新中学保健体育(学研) 副読本 中学体育実技(学研)	持ち物	【年間】半袖、ハーフパンツ・体育ファイル 【防寒用】ジャージ上下、ウインドブレーカー 【水泳】水着、水泳帽
学習の進め方	<授業での取り組みについて> ・仲間と協力して互いに励ましあいながら課題に挑戦しよう。 ・ルールを守り、安全に注意しよう。 ・健康の保持増進や病気の予防には、それらの要因に対する適切な対策が必要であることを学習する。 <家庭学習について> ・規則正しい生活習慣を身につけよう。 ・自分でできる運動は、時間を見つけて行おう。(ジョギング、ストレッチなど) <定期テストについて> ・実技書や配布プリントを中心に単元の基本用語やルール、技術ポイントを理解しよう。 ・保健分野ではノートプリントや授業中、説明されたことをしっかりまとめておこう。		
学習上の留意点	・始業前には、更衣・集合をすませておく。 ・準備、後片付けは協力しあう。積極的に授業に参加し、運動量を増やそう。 ・できない種目をできないとあきらめないで挑戦しよう。 ・保健分野では教科書やノートを忘れずに、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。		

●この教科の学習目標(評価の観点)

① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力	③ 主体的に学習に取り組む態度
<p>学習目標(評価の観点) 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。</p> <p>評価の規準 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>評価の場面・方法 定期テストや実技テストなど。</p>	<p>学習目標(評価の観点) 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。</p> <p>評価の規準 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p> <p>評価の場面・方法 定期テストやレポートなど。</p>	<p>学習目標(評価の観点) 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>評価の規準 生涯にわたって運動に親しむとともに心身の健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。</p> <p>評価の場面・方法 授業中の態度や発言、行動観察、ノートやレポートの記述、自己評価や相互評価など。</p>

●学習内容及び試験について(教材の順序、内容等は変わることがあります。) 令和5年度

	第1学年		第2学年		第3学年	
月	単元計画	試験	単元計画	試験	単元計画	試験
4	・体づくり運動7 ・集団行動5 ・新体カテスト4		・体づくり運動7 ・集団行動5 ・新体カテスト4		・体づくり運動7 ・集団行動5 ・新体カテスト4	
5	・陸上競技8 (短距離・ハードル) ・バレーボール8	中間テスト	・陸上競技8 (ハードル) ・バレーボール8	中間テスト	・陸上競技8 (リレー) ・バレーボール8	中間テスト
6	・保健6 ・水泳12(男女別の場合5)		・保健5 ・水泳12(男女別の場合5)		・保健6 ・水泳12(男女別の場合5)	
7	・球技(水泳男女別の場合のみ5)	期末テスト	・球技(水泳男女別の場合のみ5)	期末テスト	・球技(水泳男女別の場合のみ5)	期末テスト
9	・陸上競技4 ・集団行動4 (体育大会への取り組み)	実力テスト	・陸上競技4 ・集団行動4 (体育大会への取り組み)	実力テスト	・陸上競技4 ・集団行動4 (体育大会への取り組み)	
10	・体育大会		・体育大会		・体育大会	
11	・ソフトボール8 女 ・器械運動(マット)8 男	中間テスト	・ソフトボール8 女 ・器械運動(跳び箱)8 男	中間テスト	・球技6 ・ソフトボール8 ・バスケットボール8	10月実テ
12	・陸上競技(長距離)8 ・保健6	期末テスト	・陸上競技(長距離)8 ・保健6	期末テスト	・陸上競技(長距離)8 ・保健6 ・体育理論3	中間実テ 11月実テ
1	・器械運動(マット)8 女 ・ソフトボール8 男		・器械運動(跳び箱)8 女 ・走り幅・高跳び8 男		・サッカー 5 男 ・バドミントン 5 女	期末実テ
2						1月実テ
3	・体育理論3 ・ダンス8 ・武道8	学年末テスト	・体育理論3 ・ダンス8 ・武道8	学年末テスト	・アダプテッドスポーツ4	学年末テスト